

平成 18 年 8 月 28 日

各 位

東京都港区港南一丁目 8 番 5 号
ソフトブレーン株式会社
代表取締役社長 松田 孝裕
(コード番号 4779 東証第一部)
問合せ先 取締役副社長 小松 弘明
常務執行役員 小林 智志
T E L (03) 6714-2800 (代表)

取締役の異動に関するお知らせ

当社の取締役の異動について下記の通り、お知らせいたします。

記

平成 18 年 8 月 31 日付

新役職	氏名	現役職
マネージメント・アドバイザー	宋 文洲	取締役会長

※本件に関して本人からのコメントがございますので、別紙をご参照ください。

以 上

(ご参考)

当社株式の所有株式数

28,920 株

発行済株式数に対する所有株式数の割合

9.36%

(平成 18 年 6 月 30 日現在)

(別紙)

宋文洲が取締役を辞任いたしました

私は2006年8月31日をもって14年間勤めたソフトブレインの取締役を正式に辞任することとなりました。今後は、「マネージメント・アドバイザー」として自分の知識と経験とネットワークを活用し、ソフトブレインに貢献してまいります。

辞任する理由を失礼な「一身上の都合」にしたくないのでここで皆様に詳細にその理由をご報告いたしたいと思います。

ご存知の方も多いと思いますが、私は昔から「創業オーナーがいつまでも会社を経営すべきではない」といい続け、今年の始めに代表権を返上させていただきました。

「取締役会長」となった私は自分の知識と経験とネットワークを活かしてソフトブレインに貢献しておりますが、仕事の内容は代表権を持つ時とは全く異なり、一取締役の立場をわきまえて参りました。世間ではよく見られる「もう一人の社長」、「陰の実力者」にならないように自分の言動に注意を払ってきたつもりです。

しかし、社外の多くの方々はいまだに私が「実力会長」としてソフトブレインを動かしていると誤解し、私の個人としての言動を会社とリンクして捉えておられます。この経営実態にそぐわない「永遠の誤解」を解くことが今回の辞任の第一の理由です。

お蔭様で松田社長をトップとする現在の経営陣は社員の信頼を勝ち取り、ソフトブレインの更なる飛躍のために確実に布石を打ち、構造調整と事業創出を推し進めております。今後は確実に成果が現れてくると確信しております。この「過渡期の終了」は私の辞任の第二の理由です。

取締役の立場を離れるものの、ソフトブレインの永遠の一員としてそして筆頭株主として私は経営に進言し、自分の知識とネットワークを活かしてソフトブレインを応援してまいります。現在の持ち株は決して手放すつもりはありません。取締役を辞任しても、自分の貢献が今までと全く変わらないことが辞任の第三の理由です。

創業者として株主としてソフトブレインへの愛着はどなたにも負けませんので皆様とともにこの公器を大きく育てて参りたいと思います。

宋 文洲